

主催 日本発明振興協会・日刊工業新聞社 「第43回発明大賞 考案功労賞」受賞！！

株式会社アクティオ

株式会社アクティオ(本社：東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO：小沼直人「以下、アクティオ」)は、2018年3月8日(木)に「第43回発明大賞」(主催：公益財団法人 日本発明振興協会・日刊工業新聞社)において、当社発明の「根こそぎ切るソー」が「考案功労賞」を受賞いたしました。「発明大賞」とは、独創性に富む発明によって優秀な技術・製品を生み出した中堅・中小企業の方々を表彰し、その功績を広く紹介するものです。

従来、街路樹等の切り株の伐根は、チェーンソーを用いて人力により伐根していましたが、今回、発明大賞を受賞した「根こそぎ切るソー」は、低騒音の油圧駆動の回転式ホールソー※1を用い、道路植栽の工事などで、簡単に伐根を可能にした機械です。



「根こそぎ切るソー」は、街路樹等の切株や切株周囲の根をバックホー※2に取り付けたホールソーで回転して切断、切り株の根が確実に切断(縁切り)された状態で掘り出されることで、樹木周囲の構造物等を破損することなく、切り株の根を取り出すことが可能になります。

今回、これらの点が評価され受賞にいたりました。

※1 木材や金属板に穴を開ける際に使われる円状の刃

※2 油圧ショベル(バケット)と総称される建設機械の一種

■ アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営 2014年 幻冬舎）。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せつかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持つ

てサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】 [http:// www.aktio.co.jp/](http://www.aktio.co.jp/)

【アクティオ Facebook ページ】 <https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■ 本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 営業企画部広報課 担当：進、成澤

TEL:03-6854-1414 FAX:03-6854-1436 e-mail : aktio-pr@kyodo-pr.co.jp